

移動・設置・収納は大人2名で



本製品はSGマーク対象製品です。
SGマーク制度は、卓球台の欠陥によって
発生した人身事故に対する賠償制度です。

セパレート式卓球台取扱説明書



警告 以下の警告を無視して誤った取扱をすると、
人が死亡または重傷を負うおそれがあります。



移動注意

移動・設置・収納は必ず同じ体力を持つ大人2名でおこな
い。子供・生徒・高齢者だけ
で移動しないで下さい。



接触注意

連結部や天板の合わせ目など
は、指や手などを挟み込む可
能性があります。この部分に
は触れないで下さい。



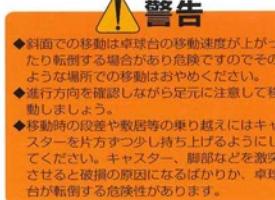
加重禁止

卓球台に重いものを置かない。
体重をかけたり、腰かける、
のぼる、もぐるなどしないで下
さい。

- ◆管理者から指導を受け、よく理解してから使用して下さい。
- ◆必ずアジャスターの調整を行い、がたつきや傾斜がない状態で使用して下さい。
- ◆使用する前は点検ポイントにそった点検を行え。異常が見られた場合は使用を中止し、速やかに管
理者に報告して修理・交換など適切な処理をして下さい。
- ◆移動・設置・収納をする前は、周囲に子供や高齢者・部外者がいることを確認して下さい。
- ◆段差や凹凸がある床面での移動、およびカーペットなど柔らかい床面ではキャスターの動きが
制限され、卓球台の破損につながるばかりでなく、転倒の危険性があります。そのような場所
での使用を避けると共に、段差をなくす処置を講じて下さい。
- ◆管理者は使用前に取扱説明書をよく読み、使用者に対し卓球台の使い方を指導して下さい。
また子供・生徒・高齢者・部外者だけでの使用が予測され、管理者の目の届かない状態になる
場合、長期間卓球台を使用しない、破損などにより使用できないなどは、「使用禁止」等の表
示をした上で、完全に保管ができるように処置を講じて下さい。

移動のしかた

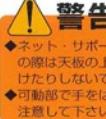
- 1 キャスターにストッパーが付いている機種は必ず解除します。
- 2 収納時ストッパーの「オートマグネット」で確実に脚部と天板がロック状
態になっていることを確認して下さい。(高さ調節式卓球台にはオートマ
グネットが装備されていません。)
- 3 1組の天板を組み合わせた状態で天板・枠板の外側部分を持ち、2名同時に
同じ程度の力でゆっくりと移動させます。



- ◆斜面での移動は卓球台の移動速度が上がり
たり転倒する場合もあり危険ですのでその
ような場所での移動はおやめください。
- ◆進行方向を確認しながら足元に注意して移
動しましょう。
- ◆移動時の段差や敷居等の乗り越えにはキャ
スターを片方ずつし、持ち上げるようによ
うにしてください。キャスター、脚部などを激
しくさせると破損の原因になるばかりか、卓球
台が転倒する危険性があります。

設置のしかた

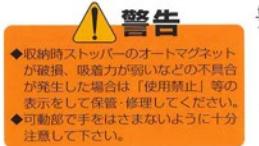
- 1 キャスターにストッパーが付いている機種は必ず解除します。
左右の卓球台を2名でゆっくり離して約2m程度間隔を開けます。
- 2 天板・枠板を持ち、声を掛け合って息を合せ、2名同時に同じ力でゆっ
くりと回転させるように開き収納時ストッパーの「オートマグネット」
を解除し、外脚が床につくまで手で支えたまま下ろします。
- 3 使用時ストッパーを確実にセットします。



- ◆ネット・サポートの取付、取り外し
の際は天板の上に乗ったり体重をかけ
たりしないで下さい。
- ◆可動部で手をはさまないように十分
注意して下さい。

収納のしかた

- 1 ネット・サポートを取り外します。
- 2 キャスターにストッパーが付いている機種は必ず解除します。
左右の卓球台を2名でゆっくり離して約2m程度間隔を開けます。1名は台を支え、もう1名が使用時ストッパーを解除します。
- 3 天板・枠板(エンドラインと内脚を目安に)
を持ち、声を掛け合って息を合せ、2名同時に
同じ力でゆっくりと天板を立てます。
- 4 収納時ストッパーのオートマグネットが
自動的に天板を脚部に固定しますが、
確実に天板がロックされているか確認
して下さい。



- ◆収納時ストッパーのオートマグネット
が破損・吸着力が弱いなどの不具合
が発生した場合は「使用禁止」等の
表示をして保管・修理して下さい。
- ◆可動部で手をはさまないように十分
注意して下さい。

※ネット側から
天板を上げたり
押したりすると
転倒する場合が
あります。



形式：内折セパレート式

品番	
製品番号	
製造年月	検印

点検のポイント

天板・枠材	ひびわれ、かけ、ささくれ 塗装のはがれはないか?
外脚・内脚 連結棒	変形、塗装はがれ、溶接のきれつ キャップの脱落・欠損はないか?
使用時ストッパー キーピジョント	変形、マグネットの破損、吸着力は 強いか、脱落・欠損はないか?
収納時ストッパー (オートマグネット)	変形、マグネットの破損、吸着力は 強いか、脱落・欠損はないか?
キャスター アジャスター	変形、磨耗、脱落はないか? 動きはスムーズか?
ボルト、ナット	変形・ゆるみ、脱落はないか?

◆定期的に点検結果を別紙点検表に記入して修理・交換の必
要がある場合は「使用禁止」の表示をし、速やかに適切な
処理をして下さい。破損、ボルト・ナットのゆるみ、変形な
どが見られた場合での使用は大変危険です。

※機種により取付位置が異なる場合があります。また、装備
されていない機種もあります。